

| 特集 |

診断工 科学

セッティング別

救急外来

入院診療

一般外来

在宅診療

「診断エラー」に陥りやすい状況には特性やパターンがあることが、科学的に明らかになってきています。

それを予めわかっていさえすれば、防げるエラーもあるはずです。

そこで本特集では、診断エラー学における最近のトピックスである

「situativity（状況性）」の視点から、

「救急外来」「入院診療」「一般外来」「在宅診療」のセッティング別に、特にエラーを生じやすい疾患や医療関連合併症などについて、診断エラーに陥りやすい理由、早期診断・発見のための対策を各領域のエキスパートにご解説いただきました。

かつては「誤診＝医者ミス・能力不足」とされ、語りづらい雰囲気もあった診断エラーを、科学的に解きほぐします。

企画 | 綿貫 聡

エラーを する!

陥りやすい疾患・状況

今月の Questions

- Q1 「誤診」と「診断エラー」は違うのでしょうか? >>> 546
- Q2 「救急外来」から帰宅する際、患者さんはどれくらい医師の説明を理解しているか? >>> 552
- Q3 「急性冠症候群」「急性大動脈解離」の診断で重要なことは? >>> 557
- Q4 「くも膜下出血」「脳梗塞」を見逃さず早期診断するために重要なことは? >>> 562
- Q5 「入院中」には診断エラーは起こらない? >>> 567
- Q6 「静脈血栓塞栓症」の予防・早期発見に際して留意することは? >>> 571
- Q7 「医療関連感染症」の診断エラーを避けるためには? >>> 575
- Q8 「画像診断レポート」の確認不足を防ぐために必要なことは? >>> 579
- Q9 「一般外来」における診断エラーの頻度は? >>> 584
- Q10 病理診断のみならず、臨床診断によって最終診断する「がん」が存在する? >>> 588
- Q11 「感染性心内膜炎」を疑った時に重要な検査は? >>> 593
- Q12 「肺結核」を鑑別にあげるべき症状と行うべき検査は? >>> 597
- Q13 「HIV感染症」を疑い、スクリーニング検査を検討すべき状況とは? >>> 601
- Q14 「リウマチ膠原病診療」で診断エラーをしないために重要なことは? >>> 606
- Q15 「在宅診療」における診断エラーを防ぐには、どうしたらよいですか? >>> 611